



# 2022年1月期 第1四半期 決算説明資料

ベステラ株式会社  
東証第一部(証券コード:1433)

# 決算のポイント

## 売上高

**1,318**百万円

- ・コロナ禍による影響は軽微
- ・売上高は対前年417百万円(46.3%)増
- ・大型の進行基準工事が順調に進捗し、増収

## 営業利益

**198**百万円

- ・営業利益は、大幅な増収と原価の低減を受けて、対前年183百万円(1,210.4%)増。2022年1月期業績予想に対する進捗率は44.1%
- ・売上総利益率は、26.9%(前年同期19.4%)

## 受注残高

**2,080**百万円

- ・受注残高は、旺盛なプラント解体需要に支えられ、堅調に推移。対前年523百万円(33.6%)増
- ・電力、化学業界の案件が高い割合を占める

## 業績予想

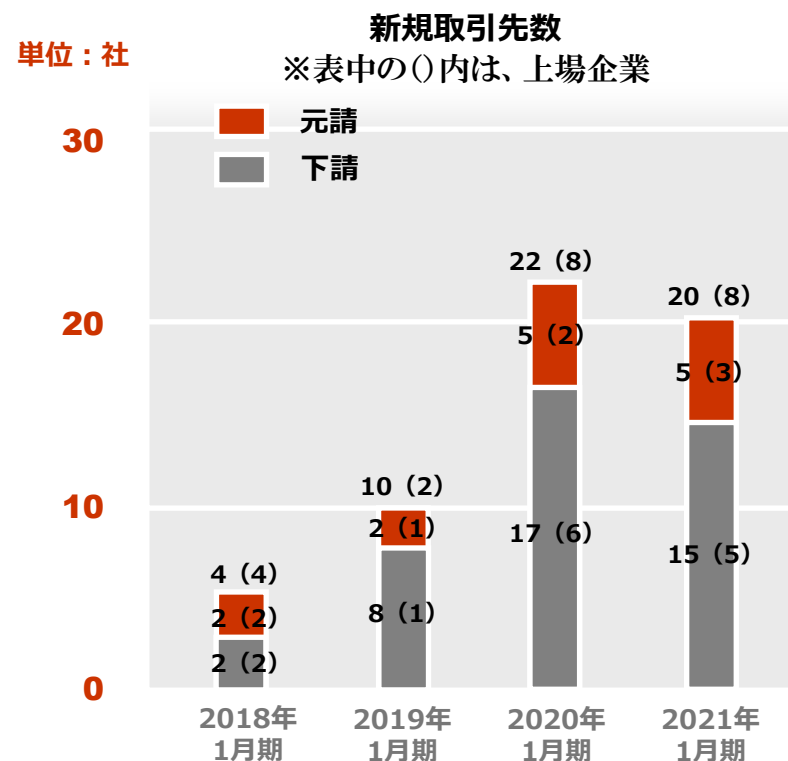
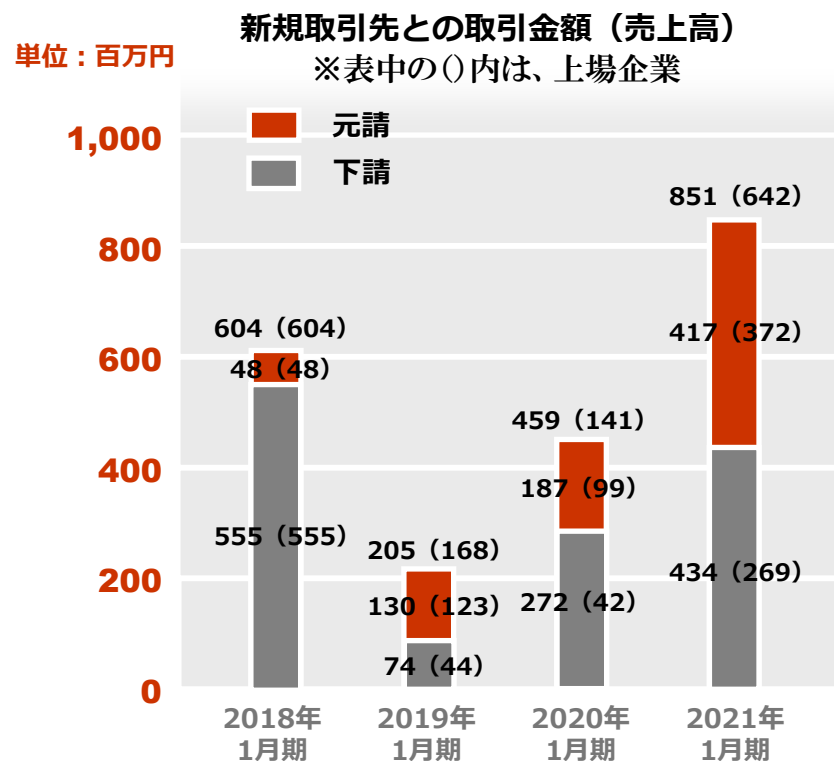
- ・2022年1月期の業績予想は、工事が順調に進捗していることから、売上高5,600百万円、営業利益450百万円を見込む

## 新規取引先の増加

- ・新規顧客数およびその取引金額が増加傾向
- ・特に大手メーカーからの元請案件が増加

# トピックス 新規取引先の増加

新規営業活動への注力と、解体市場の拡大を背景に、新規の顧客数および取引金額が増加傾向にあります。特に2021年1月期は、大手メーカーからの元請案件が飛躍的に増加しております。



当社は、製鉄、電力、ガス、石油等の大手企業のエンジニアリング子会社を中心とした優良な顧客基盤を構築しています。新規取引先についても規模の大きな企業が多く、新規取引先のうち、上場企業平均時価総額は約6,400億円となっております。

# 損益計算書: 第1四半期(2022年1月期)

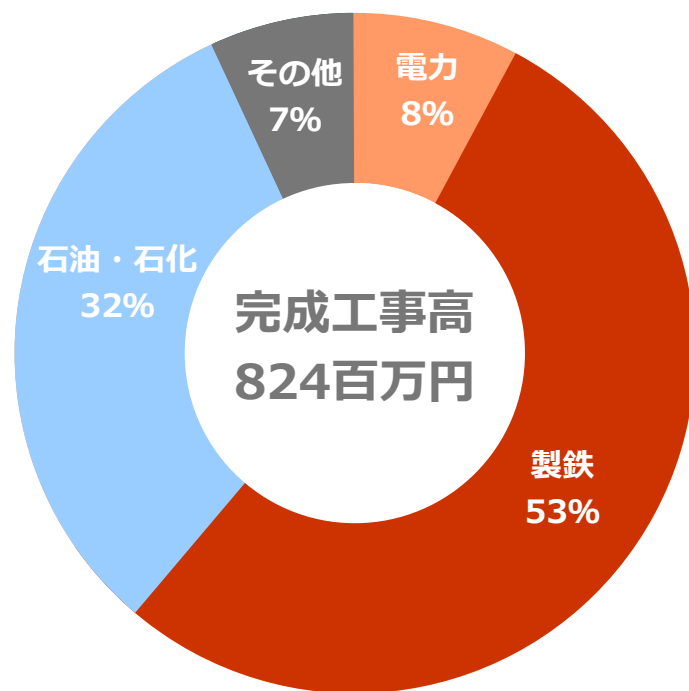
売上高は、大型の進行基準工事の順調な進捗を背景に、前年同期比46.3%の増収となりました。営業利益も同様に、大幅な増益となっております。また、コロナ禍による影響は軽微なものとなっております。

単位: 百万円

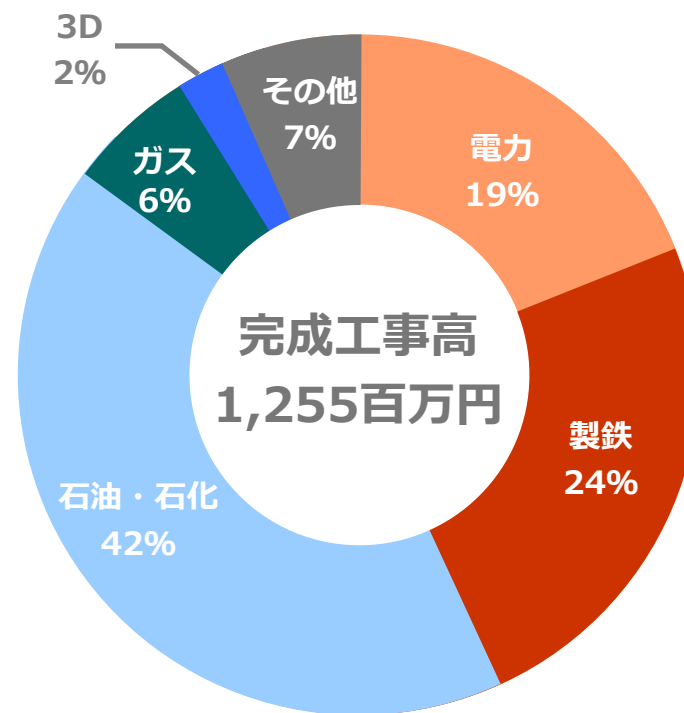
	2022年1月期 第1四半期	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	1,318	—	901	417	46.3%
売上総利益	354	26.9%	175	179	102.4%
販売費及び 一般管理費	156	11.9%	160	▲3	▲2.3%
営業利益	198	15.0%	15	183	1,210.4%
経常利益	196	14.9%	16	179	1,111.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	132	10.1%	5	126	2,131.7%

# 業界別 完成工事高構成比率

2022年1月期第1四半期は、電力および化学業界において大型の進行基準工事が順調に進捗しており、完成工事高に占める比率が高くなっております。



2021年1月期（第1四半期）

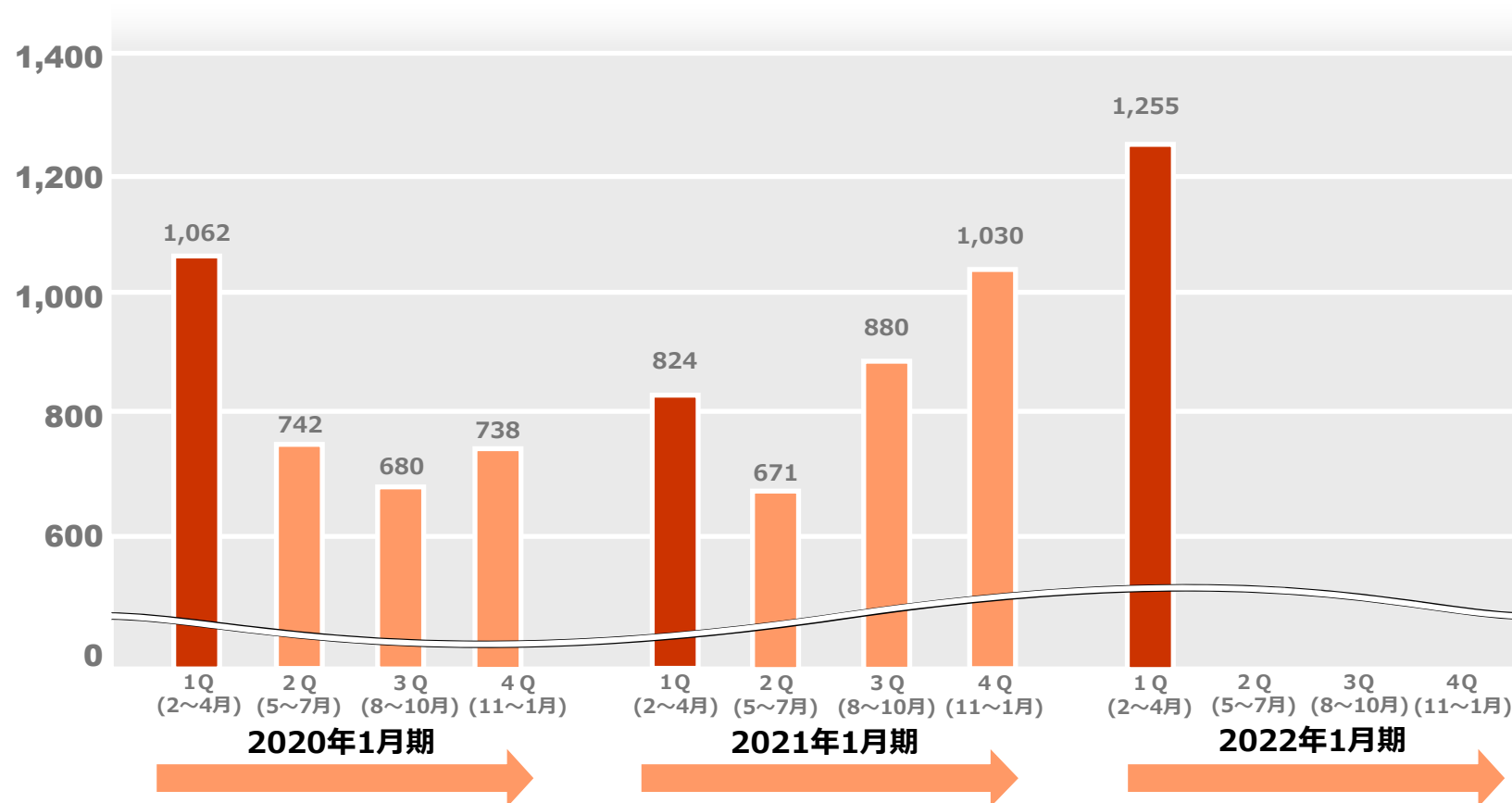


2022年1月期（第1四半期）

# 完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。例年、下期に完成工事高が増加する傾向となっております。

単位: 百万円



## 販売費及び一般管理費：第1四半期(2022年1月期)

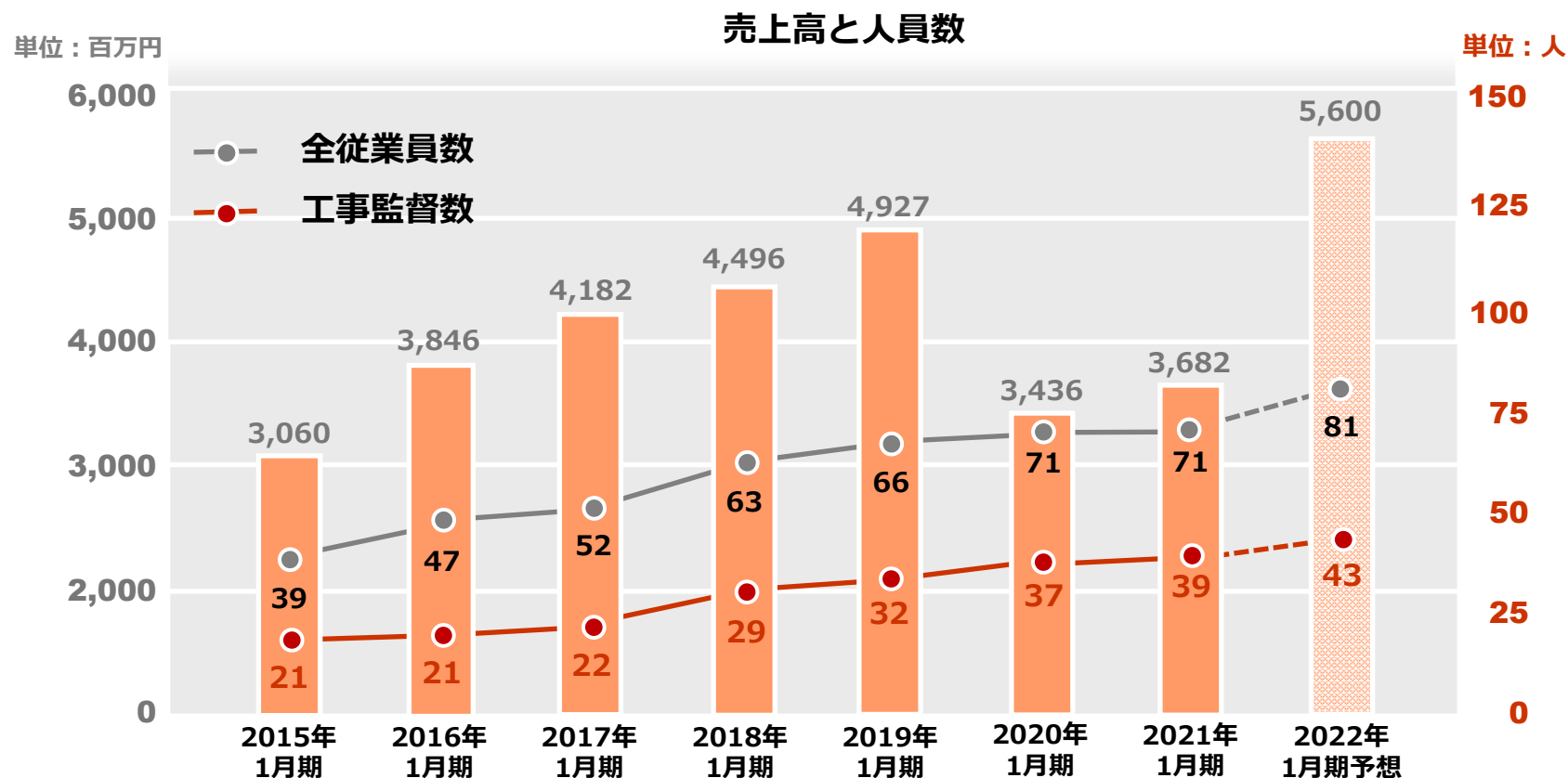
販管費は、前年同期比で減少となっておりますが、中期経営計画達成のための戦略的投資を進め、計画通り推移する見込みであります。

単位: 百万円

	2022年1月期 第1四半期	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	92	85	7	8.2%	人員増
研究開発費	—	—	0	—%	—
支払手数料 支払報酬	17	18	▲0	▲1.9%	基幹システム改良
採用費	2	10	▲7	▲75.5%	広告媒体、紹介手数料 等減少
広告宣伝費	0	1	▲0	▲51.1%	広告媒体減少
その他	42	44	▲2	▲5.6%	
合計	156	160	▲3	▲2.3%	

# 人員計画の進捗

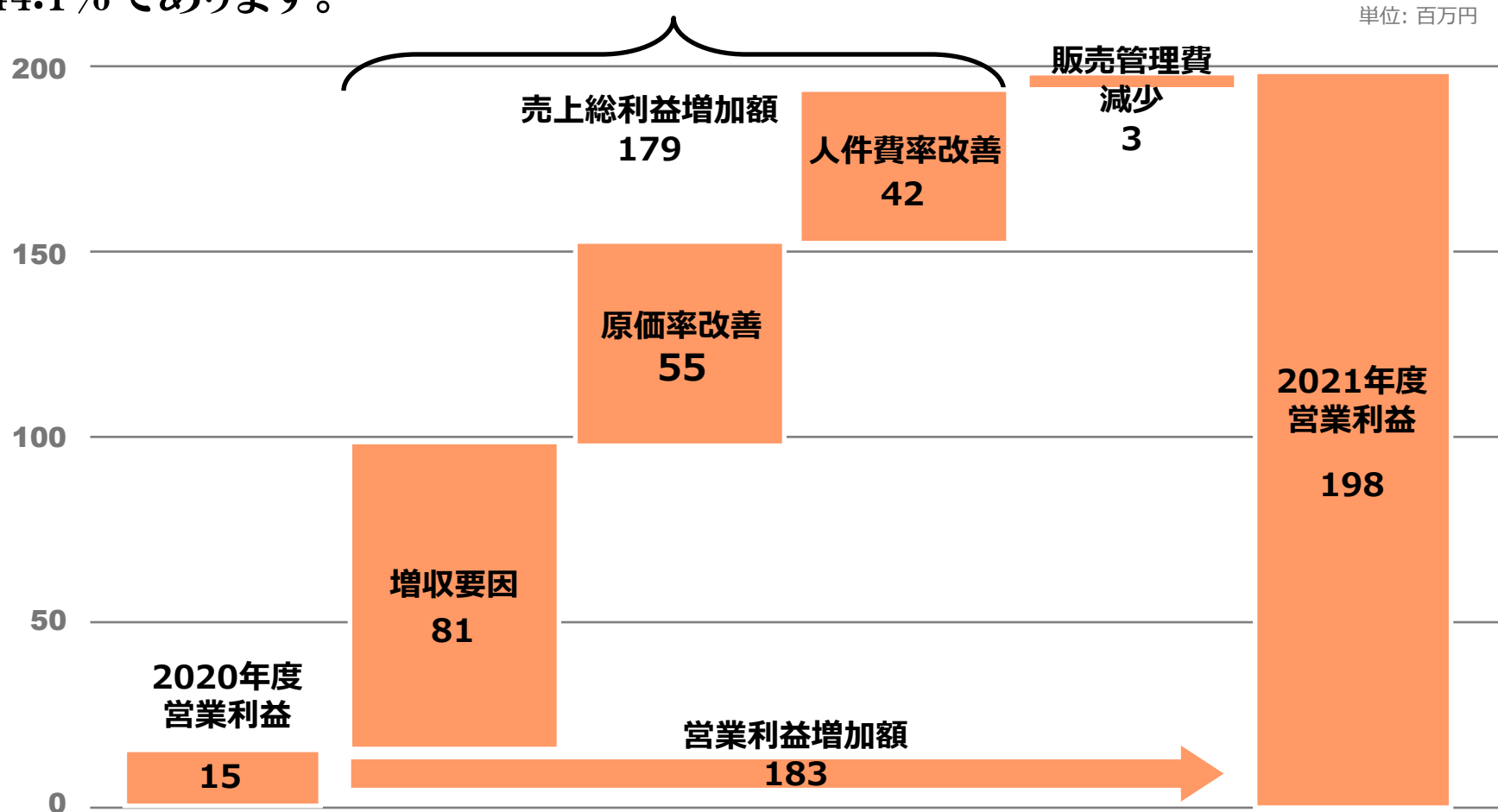
中期経営計画の人員計画に基づき下記の人員計画を作成しております。  
第1四半期末現在、**工事監督数**は、**39名**となっております。





# 営業利益の増減要因分析：第1四半期（2022年1月期）

工事の順調な進捗による増収と、原価低減による売上総利益の増加を受け、大幅な増益となっております。2022年1月期業績予想に対する進捗率は、44.1%であります。



# 貸借対照表：第1四半期(2022年1月期)

単位：百万円

	2022年1月期 第1四半期	前事業年度末	増減額	主な増減要因
流動資産	3,302	2,948	354	工事代金の回収による現金 預金の増加によるもの
(うち現金預金)	(1,679)	(1,367)	(312)	
固定資産	3,079	3,082	▲3	繰延税金資産の減少による もの
流動負債	1,382	1,094	288	未成工事受入金の増加によ るもの
固定負債	2,286	2,341	▲54	長期借入金の返済によるも の
純資産	2,712	2,595	117	純利益の積み立てによるも の
総資産	6,381	6,030	351	

## 受注状況：第1四半期(2022年1月期)

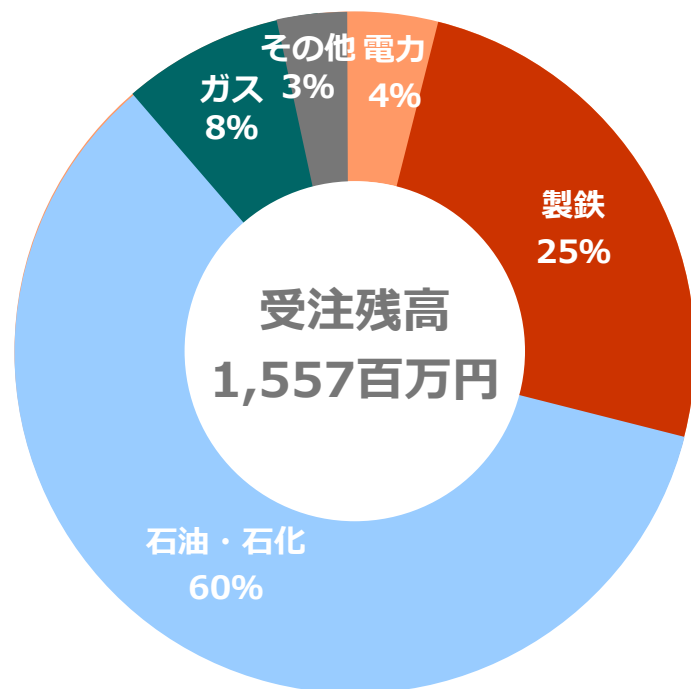
受注残高は、前期末からの豊富な受注残高を消化しつつも、旺盛なプラント解体需要に支えられ、堅調に推移しております。

単位：百万円

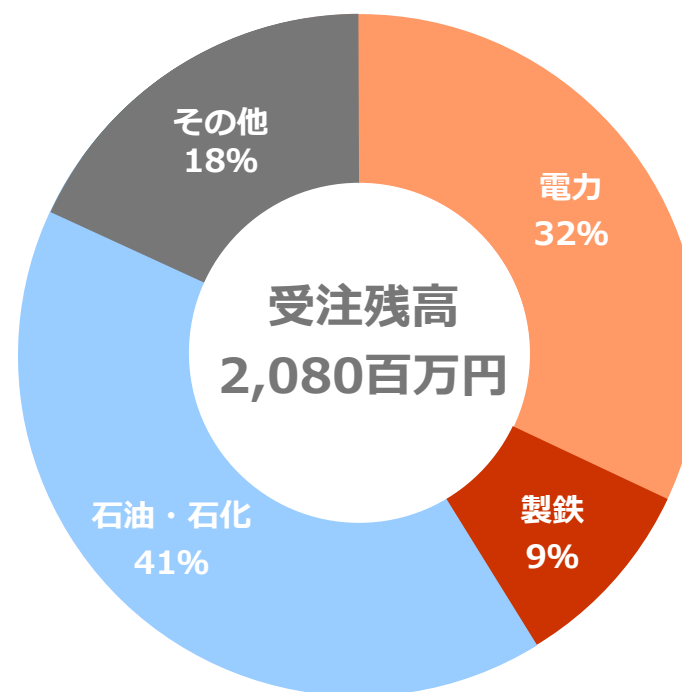
	2022年1月期 第1四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	2,545	1,046	1,498	143.1%
受注工事高	790	1,334	▲543	▲40.7%
完成工事高	1,255	824	431	52.4%
期末繰越工事高 (受注残高)	2,080	1,557	523	33.6%

# 業界別 受注残高構成比率

前期は、大型の化学プラントの受注により、化学業界の比率が高くなっております。2022年1月期についても、電力、化学業界の案件が高い割合を占めております。



2021年1月期（第1四半期）



2022年1月期（第1四半期）

## 業績予想 (2022年1月期)

2022年1月期の業績予想は、工事が順調に進捗していることから、売上高5,600百万円、営業利益450百万円を見込んでおります。

単位: 百万円

	業績予想 2022年1月期	実績 2021年1月期	増加率
売上高	5,600	3,682	52.1%
営業利益	450	124	261.4%
経常利益	518	212	143.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	360	142	152.5%
1株当たり 当期純利益	43円	17円	—
1株当たり配当金	16円	16円	—
配当性向	36.6%	92.3%	—

# 本資料についてのご留意事項

---

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベステラ株式会社



Copyright © BESTERRA CO., LTD All rights reserved.

